

碧南市はなぜできぬ

統一協会との関係 犬山市では市長も議会も全面公開

犬山市長のホームページより

旧統一教会とのかかわりに関する報告

旧統一教会及び関連団体とのかかわりに関し、これまでの状況をご報告いたします。

旧統一教会及び関連団体の行事等への市長の出席状況

- 令和元年6月22日 フロイデにて「魁モデルシティづくり犬山シンポジウム（主催：ILC実行委員会）」
- 令和元年6月23日 フロイデにて「家庭連合ファミリーフェスティバル（主催：APTF犬山支部）」
- 令和2年2月16日 犬山家庭教会にて「魁モデルシティづくり犬山シンポジウムを踏まえた活動報告会（主催：ILC実行委員会）」
- 令和3年11月14日 犬山家庭教会にて「市政報告会（主催：犬山家庭教会）」

後援名義の使用状況

- 令和元年6月22日 フロイデにて「魁モデルシティづくり犬山シンポジウム（主催：ILC実行委員会）」へ
- 犬山市及び犬山市教育委員会の後援名義使用を承認（令和4年8月22日、後援名義使用取り消し）

市への寄付の状況

- ・平成30年12月 10万円（学校施設整備基金へ積み立て）
- ・令和元年7月 10万円（図書館の図書購入）
- ・令和2年1月 5万円（子ども未来園の図書購入）
- ・令和2年5月 手作りマスク246枚
- ・令和3年1月 5万円（子ども未来園の図書購入）
- ・令和3年8月 5万円（子ども未来園の図書購入）

※購入した図書は、旧統一教会の宗教思想とは一切関係のないものであり、市が選書しました。

お詫びと今後の対応

社会的な問題を疑われるような団体と市長や行政が接点を持ったことは、その団体活動を公的に奨励しているかのような印象を与え、組織の思惑に利用される危険性があります。それをある程度予測できたにもかかわらず、接点を持ってしまったことは、すべて私の認識の甘さによるものです。一連の軽率な対応により、市長や市としての信用を損なったことは、市民の皆様にご心からお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。今後、旧統一教会及び関連団体に対しては、行事等に関わらない、後援名義使用を認めない、寄付は受領しないとの姿勢で、一線を引いて対応してまいります。

（犬山市長 山田拓郎）

市長も市議会も明らかに
犬山市長と市議会はホームページで統一協会との関わりを公表しています。碧南市の禰宜田政信市長は、突き付けられた情報にケチをつけながら、自ら公表しようとしません。碧南市議会議員の中にも統一協会との関係を持つ議員もいます。日本共産党は、市長も市議会も統一協会との関係を碧南市でも明らかにするように求めます。富山市では、過去の後援取り消しも行っており、もし碧南市にも後援事実があれば、撤回を求めます。

訂正 碧南市秘書課を通じて「祝電要請」していない「後援申請」書いたと

碧南市長は秘書課を通じて、碧南民報サンデー版9/18号に掲載の「大村知事への祝電要請はしていない」「8/7のピースロードの後援申請については9/5の回答に明記した」と指摘してきました。記事の内容は訂正します。しかし祝電要請は、市長か知事かマスコミの誰かがウソを言っているのでしょうか。後援要請は改めて情報公開を日本共産党は求めました。

旧統一教会及び関連団体について、犬山市議会として関わりがあったかどうか確認したところ、令和2年8月と9月に関連団体が犬山市内で主催した行事について、当時の犬山市議会議長及び副議長宛に案内通知はありましたが、両行事とも、議長及び副議長は参加していませんでした。

しかしながら、各議員においては、別表のとおり接点があった旨の申し出がありましたので、公表します。

今後は、これまでと同様に、団体を公的に奨励していると思われるようなことのないよう一線を引いて対応してまいります。

令和4年9月9日犬山市議会議長 三浦知里

犬山市議会議員と旧統一教会及び関連団体との関わりについて

令和4年9月8日までの各議員の自己申告による

議員名	団体発行誌へのメッセージ掲載	イベント・講演会への出席	選挙活動の支援	市政報告会への出席	今後の対応
畑 竜介	—	13回	—	3回	関連団体の行事等は一切出席しない。平和大使は、既に辞退している。
小川 清美	—	1回	—	—	関連団体の行事等は一切出席しない。
長谷川泰彦	—	1回	—	—	関連団体の行事等は一切出席しない。
大井 雅雄	—	1回	—	—	関連団体の行事等は一切出席しない。
岡村 千里	—	—	—	—	
丸山 幸治	—	—	—	—	
鈴木伸太郎	—	—	—	—	
柴田 浩行	—	—	—	—	
大沢 秀教	—	—	—	2回	関連団体の行事等は一切出席しない。

以下該当していないので省略しました。

さようなら戦争・原発 国葬・岸田政権ノ 1万3000人集う



(写真) いっせいにプラカードを掲げてアピールする「さようなら戦争さようなら原発9・19大集会」の参加者=19日、東京都渋谷区

志位委員長・野党あいさつ

9月19日、東京・代々木公園で憲法違反の安倍元首相の「国葬」をはじめ憲法も民意も踏みにじる岸田政権に抗議し、政治転換を求める「さようなら戦争 さようなら原発9・19大集会」が行われました。時折強い雨が降るなか、1万3000人（主催者発表）が参加。日本共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の阿部知子衆院議員、社民党の福島瑞穂党首や市民の代表らと一緒に「憲法無視の政治ではなく、憲法を生かした政治へ転換しよう」とアピールしました。集会後にはデモ行進が行われました。

平和と暮らし第一の政治を

主催者を代表してあいさつした、総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和さんは「野党や市民の声をまったく聞こうとしない岸田政権に、腹の底からの怒りを突きつけよう」と訴え。国葬や大軍拡など安倍政権以上に憲法と立憲主義を無視した政治を進めていると批判し、「平和と暮らし第一の政治を求める声と運動をさらに強めていこう」と語りました。

「安政法制」の実践訓練が

政党あいさつで、志位氏は、安政法制について、今夏に米ハワイなどで行われた米海軍主催の環太平洋合同演習（リムパック）では「安政法制＝集団的自衛権の発動を想定した訓練が歴史上初めて行われた」と告発。『安政法制』と『敵基地攻撃』が合わさると恐ろしいことになる」と指摘しました。米国が海外のどこかで戦争を始めたら、集団的自衛権を発動し、自衛隊が「敵基地攻撃」能力を使って相手国に攻め込む、その結果、日本に戦火を呼び込むことになるとして、「こんな道は絶対に止めましょう」と訴えました。

国葬反対60%以上

志位氏は、各紙世論調査で、安倍晋三元首相の「国葬」反対が60%以上だと示して、道理がないことの証明だと強調するとともに、安倍氏への「敬意」や「敬意」を強制する「国葬」は憲法違反だと強く批判。安政法制を強行し、格差と貧困を広げ、国政私物化の疑惑にまみれ、統一協会の「広告塔」になった人物に対して、『敬意』の強制は絶対にあつてはならない」と強調し、最後まで「国葬」中止の声を広げようと呼びかけました。

伊波碧南市でも台風直前 猛風雨の中、シール投票

碧南市でもピアゴ前で19行動を行いました。折から台風の接近で時折強い風雨の中「国葬は反対」



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをごらんください。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 山口はるみ 市議会議員 岡本守正 市民運動部長 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

戦争法廃止改憲許すな へきなん 19行動

10月19日（水曜日）
午前11時～12時 ピアゴ碧南東店
東浦町6-17（日進小学校南）



9月19日ピアゴ前の19行動。4人がマイクで訴え、シール投票も行いました。